

メディアでは見えない“真実の声”を聞いてください。

# チャリティ・ディナー

# 3.6

2016  
《日》

会場  
主催  
参加費

渋谷セルリアンタワー ボールルーム 東京都渋谷区桜丘町26-1  
TEL03-3476-3000(代表)  
特定非営利活動法人マザーリンク・ジャパン  
¥30000～

16:30 OPEN  
17:00 START

## チャリティ・ディナー タイムテーブル

- 16:30 開場 ウエルカムドリンク  
17:00 開宴 (着席スタイルでのディナー)  
・コース料理  
・マザーリンク活動フィルム  
・被災地の子どもたちの現状について  
・トークセッション『僕らの学校を創ろう！プロジェクト』  
～子どもの心のケアと不登校の子ども支援～  
明蓬館高校理事長 マザーリンク・ジャパン代表  
日野公三氏 × 寝占理絵  
・庄野真代さん&227による演奏タイム  
・オークション出品者による応援メッセージ  
・交流タイム  
・花が咲く 演奏  
20:00 終了

※内容は変になる可能性があります。



## トークセッション

### 『僕らの学校を創ろう！プロジェクト』～今、被災地で必要とされる子どもの心のケア～



アットマーク国際高等学校  
明蓬館高等学校 校長  
東京インターハイスクール

日野公三氏



特定非営利活動法人  
マザーリンク・ジャパン代表

寝占理絵

1996年日本初のインターネットを活用した通信制高校を設立。不登校生のためだけでなく、「自閉症の僕が飛びはねる理由」でベストセラー作家になった東田直樹さんなど、スペシャルニーズのある子どもへの教育にも力を入れている。

3.11直後から『親子支援』を開始。2年目から仮設住宅に住みながら支援活動を行う。現在は『子どもの貧困対策』として、『被災地のシングルマザーが子どもと生き抜く為の教育プログラム』を実施。支援活動の中でPTSDによる子どもの不登校が多いことに気づく。

## アーティスト紹介



227 (にになな)

同じ誕生日に生まれた二人、Tama 広田圭美 (Piano) と Yuki 山下由紀子 (Percussion) から結成された異色ユニット。ピアノとパーカッションとは思えない圧巻のライブパフォーマンスで注目を集めている。



庄野真代 (しょうのまよ)

歌手・シンガーソングライター。1978年「飛んでイスタンブル」「モンテカルロで乾杯」などが大ヒット。その後28か国132都市をめぐる世界旅行に。現在は歌手活動と共にNPO法人国境なき楽団を運営し、不用になった楽器を途上国や貧困地域へ送る活動などを行っている。3.11直後のマザーリンクの活動にも協力。



イベントページ



個人の方

## お申し込み



個人の方お申込みページ  
<http://peatix.com/event/148880>

イベントページ(法人様)  
<http://www.motherlink-japan.org/charitydinner/>



まだ終わっていない、  
子どもたちの3.11。

## 僕らの学校を創ろう！プロジェクト

あなたは知っていますか？

震災から5年たった今でも  
学校に通えないままの子どもたちがいることを。

メディアでは見えない“真実の声”を聞いてください。



## 3.11震災から5年 いま考える“本当に必要な支援”とは



マザーリンク・ジャパンは、震災直後から被災した親子に寄り添い、個別訪問で約200世帯への支援してきました。5年たった現在も、寄り添った支援を続けています。

### 震災後、失われた5年間

当時小1だった女の子が震災後、PTSDの影響で不登校に。震災から5年たった今でも学校に通えないままです。同じ年頃の子どもの中で成長する大切な時期を丸ごと失ったまま、仮設住宅で5年が過ぎました。

### 震災後、5倍に増えた不登校

新聞の発表では2.5倍。しかし、実際には5倍に膨れ上がっています。あるお母さんの話によると、1クラスに5人も学校通えない子どもがいると。メディアでは見えない“真実の声”はやはり誰にも届きません。

### 居場所がない子どもたち

心のケアが本当に必要な子どもたちの居場所がありません。工事車両が行き交う中では、震災前のように友達の家に行き来することも出来ず、狭い仮設に閉じこもるしかありません。

3.11の被災地では心のケアが必要な子どもたちが大勢います。狭い仮設住宅ではなく、長期的な視点で考えられた『心を癒せる空間』と『体験活動』が今必要とする支援です。

子どもの未来を「希望」に変え、失った笑顔を取り戻すために。

そんな不登校になってしまった子どもが心のケアを受けながら学べるフリースクール“おひさまの家”的建設資金を募っています。



私たちが考える“おひさまの家”とは？

PTSDで学校に行けなくなった子どもたちが心のケアを受けながら学べる学校です。

みんなが楽しめる ······ アート活動や音楽療法を取り入れたワークショップなどをみんなで創る ······ ペンキを塗る、棚を作る、組み立てる  
みんなが先生になる ······ 先生になって、子どもを支える  
みんなで建設資金\*をシェアする ··· ひとりひとりが関わる「我が家」のような学校を

\*陸前高田は街ごと流され、借家もオフィスも賃貸でお借り出来る物件はありません。その為、フリースクール設立に建築資金が必要となります。ご理解いただき、ご支援を頂ければ助かります。



大きくなくていい。  
小さくても、  
できる人ができることを。